



こだま けいそう
児玉 敬三 議員

公共施設における利便性の向上について

問 公民館、コミュニティセンターのトイレの洋式と和式との対比は約1対3で和式が根強く残っている。今後の洋式化に向けての取り組みはどうか。

答 トイレの洋式化については、平成21年度の国の緊急経済対策に伴う「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を活用し、洋式化されていなかった施設を中心に、整備前38%であった洋式化率を62%に引き上げてきた。今後は利用状況や施設の構造、老朽化の状況を確認しながら対応を検討する。



洋式化を待つ和式トイレ

式も根強く残っており、男性用トイレにおいては、和式オンリーの施設もある。市民の声は、地域別の不平等感をなくし利便性の高い施設の整備を望んでいるがどうか。

答 平均の洋式化率は60%を超えているが、男性用トイレでは洋式化率が低いなど、男女別トイレで片寄りがある。今後男性用、女性用に区別されている施設のうち、洋式トイレの使用に課題がある施設については、早急に対応していく。

問 全体で見れば洋式化が進んでいるかのように見える数値であるが、施設ごとに見れば100%洋式化されている施設もある。その半面62%というのは平均値であって和

答 7月豪雨災害を踏まえた今後の水害・土砂災害対策のあり方検討結果を受け、河川激甚災害対策特別緊急事業として5年間で工事を実施する。提案された取り組みについては、市民等の防災意識の維持や向上の観点からも重要であり有効な手段である。県と協議を進めながら福山市など他都市の事例も踏まえ検討していく。

問 本年6月3日、福山市において市民・企業・行政が力を合わせた芦田川の維持管理に貢献する取り組みとして「みんなで芦田川の木を切ろう会」の活動が行われた。昨年の西日本豪雨で、川の中州の樹木が水の流れを妨げ被害を拡大させた可能性があることから行われたものである。本市においても取り組みはないか。

一般質問



かむら ひろし
加村 博志 議員

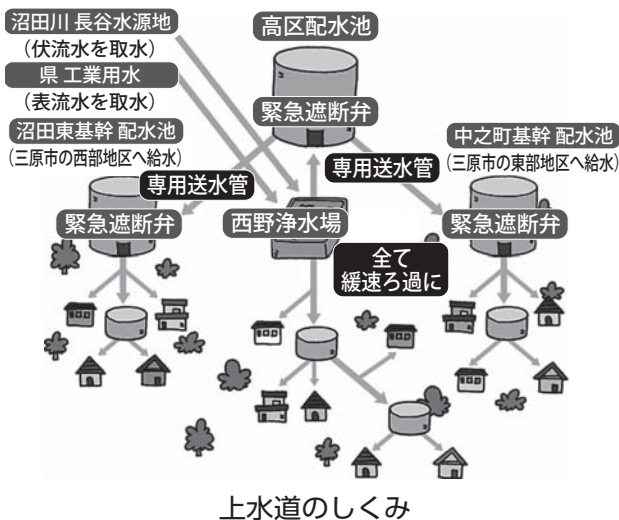
水道事業の方向性は

問 水道施設の浄水場及び配水池と管路の老朽度や耐震性能の状況と今後の更新の取り組みを問う。

答 浄水場が7カ所、配水池が6カ所あり耐震化率は容量ベースで浄水場が74・7%、配水池が69・2%である。管路延長は、総延長922kmで、更新に伴い耐震化できた管路の延長は、280kmで耐震化率は30・4%である。

問 久井・大和地域の拡張整備事業は66億6700万円投資したが、進捗状況及び一般家庭の加入率と、今後の整備計画の見通しを問う。

答 久井地域は対象戸数240戸のうち加入戸数32戸で、15口が公共施設、一般家庭は17戸で、加入率は約7%である。大和地域は、対象戸数250戸のうち加入戸数26戸で、9口が公共施設、8口が工業団地、一般家庭は9戸で、加入率は約4%である。今後、積極的な拡張整備は行わず、整備が完了している地域の加入促進に努める。



問 水道事業は、施設の更新時期となり、人口減少に伴い水道料金の減少など、財政環境は悪化が見込まれる。今後広域的に連携し、水道施設の最適化、水道水の安全確保や技術者の育成などの本市の取り組みを問う。

答 水道事業の経営、運営基盤の強化が不可欠で、県内21市町で構成する広島県水道広域連携協議会を30年4月に設置し、本市も参画し再編整備及び危機管理対策等について協議を進めている。



みやがき ひでまさ
宮垣 秀正 議員

地域コミュニティ交通について

問 地域コミュニティ交通はこの地域で、どのように利用されているか。また、市の補助金額について問う。

答 市内では、6地域でコミュニティ交通が運行し、利用者の多くは高齢者で、主な目的地は市内の病院やスーパー、駅などである。

本郷・大和・幸崎・八幡はデマンド乗合タクシー運行、平成30年度補助金額は2739万2千円。久井・佐木はコミュニティバス、773万2千円である。

問 高齢者の運転免許返納に伴う公共交通手段の確保について、本市の対策を問う。

答 免許返納後に公安委員会発行の運転経歴証明書提示で、市内のタクシー会社が利用料金の1割を割引する制度がある。また、免許返納の有

いる。

問 市内の6地域以外にも交通不便地域があり、交通弱者は大変困っている。デマンド型乗合タクシーの他地域への導入を推進すべきではないか。

答 高齢化が急速に進む中、自宅近くから目的地までをドアツードアで移動できるデマンド型乗合タクシーの役割が、今後高まると予想しており、本市としても住民の移動手段を確保するため、地域コミュニティ交通の導入を支援・促進していきたいと考えている。

問 利用者ニーズ把握のアンケート調査と次期地域公共交通網計画の策定スケジュールを問う。



本郷ふれあいタクシー

答 アンケートは外出目的や手段、路線バス・JR等の利用状況、公共交通の課題、地域の現状や課題など尋ねる内容である。アンケート集計を本年10月末迄に行い、来年3月に計画策定予定として

一般質問



まさひら ともはる
政平 智春 議員

LGBTの人々の人権の確立を

問 児童・生徒が学校の制服について違和感を持ち、カミングアウトしたとき、どう支えるか。

違和感を持つ児童・生徒のトイレの利用をどのように対処しているか。また、体育の授業はどのように対処しているか。

LGBTについての教職員の研修をどのように進めてきたか。

同性パートナーシップ証明書の発行を行っている自治体があるが、本市でも必要なのではないか。

答 文部科学省が教職員向けの参考資料で「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童・生徒に対するきめ細かな対応等の実施について」によると、当該児童・生徒への配慮と他の児童・生徒への配慮との均衡をとりながら進めることが重要であるとされている。

制服は自認する性別の制服や体操服の着用、トイレは学校の施設状況に応じて職員トイレや多目的トイレの利用など、体育については、別メニューの設定や更衣は保健室を利用するなどの対応が考えられる。

また、当該児童・生徒だけでなく全ての児童・生徒に発達段階に応じて個々の多様性、価値観があることを理解し、尊重するよう指導している。研修は校園長会において、文科省や県教委の資料を活用し、理解やきめ細やかな対応について周知するとともに、大学教授を招聘し、養護教諭や管理職を対象とした研修会を実施した。

パートナーシップ制度については、条例の整備も含めて先進地の情報の収集、研究をしていく。

人権三法の条例化を

問 「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消法」について、本市でも条例化し、実効あるものにするべきではないか。

答 人権三法に限らず、今後さまざまな人権侵害について対応するため、他都市の状況を調査して、条例の必要性について研究をしていきたい。





あんどろ
安藤 志保 議員

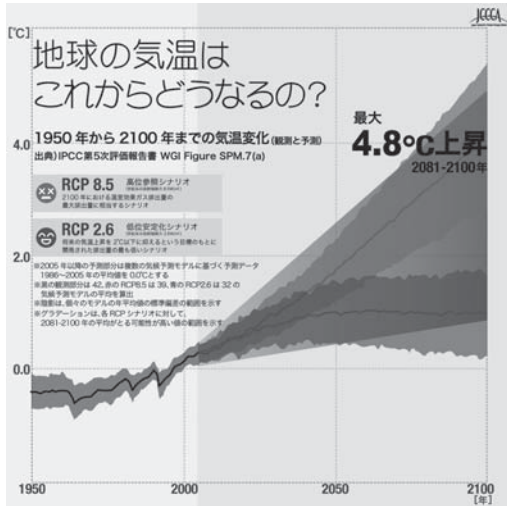
「気候非常事態宣言」について

問 気象災害が世界中で度々起きており、気候変動を引き起こす温室効果ガスの排出を減らし、ゼロにする対策が必要である。本市が示している目標に対し現状はどうか。

答 本市公共施設の二酸化炭素排出量は、平成30年度5799トンで、31年度の目標値6394トンより595トン多く削減できている。30年度は防犯灯をLEDに替えたことで、年間183トンの二酸化炭素を削減できた。

問 事業者や市民が二酸化炭素排出量を減らすために、市として行っている啓発や補助制度は効果が表れているか。

答 第2次環境基本計画の策定に当たり、事業者に向けてアンケートを行い「無料省エネ診断」を「知らない」との回答が77%、診断の実施については48%が「検討してみ



(出典) IPCC第5次評価報告書
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト
<http://www.jccca.org/>より

を考えるエネルギー環境学習を行っている。

問 国際的な合意であるパリ協定の「産業革命前からの気温上昇を2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」という目標達成には、本市の二酸化炭素排出をまだ減らす必要がある。

答 気候変動は社会の安定や人権を脅かす脅威であり、気象災害を経験した本市として、気候非常事態宣言を行い、二酸化炭素排出量の削減に向けてしっかり取り組むべきではないか。

問 その他の質問事項

● 行財政改革について

議員全員協議会の概要

市長要請による議員全員協議会が8月6日、20日、9月18日に行われ、質疑応答が行われました。

※議員全員協議会とは・・・市から提出された議案を審査する委員会とは違い、市が行政上の重要課題について、議会の意見を聴くための協議会のこと。

ペアシティ三原西館再編改修工事の基本設計(案)について

【概要】 本施設の活用(案)について再編改修工事の基本設計(案)の説明があった。

①配置計画

1階 賑わいの創出に民間店舗等を誘致。テナントエリアを3区分設定。うち1区に中国労働金庫三原支店が入居予定。

2階 児童館の移設は、採光、防火等で全体の配置を見直し、850㎡を確保。多目的ホールの機能は継続し、大会議室機能を併設する。

3階 老人大学を移設。生涯学習の機能強化に取り組み。

4階 2階のまちづくり活動ルーム機能を移設。貸室機能を強化する。

②スケジュール

6月に基本設計が終了。12月頃から工事に着工。来年7月に駅前東館跡地活用事業と合わせた供用開始をめざす。



ペアシティ三原西館

問 多目的ホールには舞台はないのか。元々ピアノがあり、小さな演奏会ができるが、これからもできるのか。

答 舞台については整備の見込みはない。可動式のものを用意するか検討したい。今までと同じような演奏会等に使用できるようにしたい。今あるピアノはその場所に置いておき、引き続き利用してもらいたい。

問 名称は新しくしたほうがいいのではないか。

答 これから検討する。

問 1階の入口付近の空間は、バス待ち等の利用者が多いが、今後もこの空間の利用は可能か。

答 工事期間中は、支障にならないように、また整備後に空床となった場合、どういう使い方ができるか考えていきたい。